

# 大牟田市立天領小学校

## 1 本校のESDの特徴

本校では、学校教育目標「共に未来を築く、心豊かで、かしこくたくましい子どもの育成」の実現に向け、郷土を愛し、郷土の発展を願ってともに考え行動する子どもを育てるESDを推進している。

天領校区は、夏祭りや盆踊り大会などの地域の伝統行事が守り継がれ、人々の活気と世代を越えた交流が見られる校区である。また、ユネスコ世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つ・三池港など、多くの価値ある歴史文化遺産を擁している。

こうした地域の教育的資産を活用し、生活科・総合的な学習の時間を中心に、地域の自然・人・社会とかかわる体験活動を重視した地域学習・環境学習を行っている。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

地域学習・環境学習を柱とし、総合的な学習の時間を中心に、教科、外国語活動、道徳、特別活動との関連を図る全体計画を策定している。

【地域学習・環境学習に関する生活科・総合的な学習の内容】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
地域学習	学校のまわりをよく見 てみよう	レッツゴー! まちたんけん	安全な地い き	近代化遺産 を調べよう	調べてみよ う地域の宝 物	天領から見 えてきた大 牟田のまち づくり
環境学習	ぐんぐんの びろ	げんきにそ だて	諏訪公園た んけん隊	めざせ!きれ いな大牟田 市	自然から学 ぼう	くらしと環 境

各教科

外国語活動

道徳

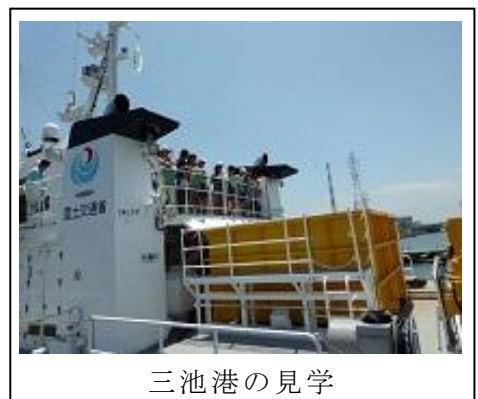
特別活動

## 3 特徴的な活動事例

【第6学年・地域学習「わたしたちがつくる大牟田」】

子ども達は、前学年までの学習で、校区にある三池港が大牟田の産業の発展を支えてきた港であることを理解してきた。その三池港が「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つとして世界遺産に登録へと向かう動きの中、次のような活動を展開した。

6月29日、三池港の見学を行った。国土交通省の協力を得て、船で港内を巡りながら埠頭の工場・倉庫群を見たり、間近で閘門の動く様子を見たりした。こ



三池港の見学

の見学で、子どもは、三池港が今なお大牟田と世界をつなぐ価値ある港として校区に存在していることへの実感を深めた。

7月9日、三池港の世界遺産登録決定を受け、児童会主催で「三池港・世界遺産登録！記念児童集会」を開催した。校区の宝が世界の宝になったことへの自分達の思いを発表した。集会では、登録決定の翌日に子ども達が取材した、校区の商店の人々や家族の喜びの声もビデオで流され、世界遺産登録の喜びを校区で分かち合う集会となった。

三池港の見学、世界遺産登録記念児童集会を通して、子ども達は世界遺産のあるまち・天領校区と大牟田市のことをもっと多くの人に知ってもらいたいという思いを強くした。

そこで、海外の学校とのアートマイル壁画交流において、大牟田の伝統の祭り・大蛇山まつり、世界遺産に登録された宮原坑とともに、三池港をモチーフに絵画を描き上げ、フランスの Saint Paul-Reze 校との交流を行った。

また、三池港に外国からの観光客が訪れることを想定して、学校の正門脇に取り付ける案内板（英語表記）を作ったり、英語での道案内の練習をしたりした。

さらに、市内の他校とともに「世界遺産めぐりコース」をつくって、共同PRし、修学旅行や社会科見学を誘致するというアイデアも出した。来年度に向けた取組として、現在の6年生から来年の6年生に引き継ぐことにしている。



世界遺産登録記念児童集会



アートマイル壁画

#### 4 本年度の成果と課題

##### ○成果

- ・実地見学を行うことにより、校区にある三池港をより身近に感じながら、施設の役割と地域の発展、大牟田と世界のつながりを子ども達が考えることができた。前学年までの学習と合わせて、歴史・文化・産業など多角的・総合的な視点で対象をとらえる学習ができた。
- ・取材を行ったり集会を開いたりして校区の人々とのかかわりを深め、アートマイル壁画交流によって外国の人々とつながることができた。世界遺産の誕生という出来事の中で生まれたかかわり、つながりが、身近な地域への愛着を深め、世界に目を向けるきっかけになった。

##### ○課題

- ・子ども達は、これまで、三池港の価値とそれを築いた先人の努力について学んできた。世界遺産登録を機に、その学びを生かして、いろいろな方法で大牟田のまちづくりにかかわっていくことができるよう、子どもの発想や行動力をより生かすカリキュラムを開発していく。